

はらだ たかし 原田 節

オンド・マルトノの世界

7弦ギターの名手・尾尻雅弘と贈るロマンの香り



原田 節

オンド・マルトノ

【演奏予定曲】

- A. ボロディン：歌劇「イーゴリ公」より
ポロヴェツ人の踊り（ダッタン人の踊り）
W.A. モーツァルト：歌劇「魔笛」より
「復讐の炎は地獄のように我が心に燃え」（夜の女王のアリア）
A. ピアソラ：アヴェ・マリア～リベルタンゴ
ほか
※プログラムは変更になる場合がございます。
予めご了承ください。

2025

6.15 [日]

開場 13:30

開演 14:00

伊都文化会館 大ホール



尾尻 雅弘

ギター

入場料

全席自由

一般 1,500円(当日 1,800円)
高校生以下 500円(当日 同料金)



チケット発売日 4月15日(火)

チケット取扱い

※未就学児の入場はご遠慮ください。
※前売券が完売の場合、当日券の販売はありません。
※本コンサートは(公財)三井住友海上文化財団の
助成により特別料金に設定しています。



伊都文化会館 (9:00~19:00)

ticket <https://teket.jp/11970/44140>

チケットぴあ [https://t.pia.jp/\[Pコード:289-534\]](https://t.pia.jp/[Pコード:289-534])

主催：糸島市、(株)福岡市民ホールサービス（伊都文化会館指定管理者）、福岡県、(公財)三井住友海上文化財団
問合せ：伊都文化会館 福岡県糸島市前原東2-2-7 050-3533-3168 <https://www.ito-bunka.jp/> 月曜休館

オンド・マルトノ… ???

オンド・マルトノは、鍵盤・弦・スピーカーからなる電波楽器で、1928年フランスの電気技師M. マルトノによって発明されました。「オンド (ondes)」はフランス語で「波」を指し、「マルトノの電波」という意味になります。日本国内にも10名程度しか奏者がいないため、生演奏を聴ける機会は大変貴重です。



photo by Yutaka Hamano

はうだ たかし

原田 節 オンド・マルトノ

3歳よりヴァイオリン、7歳よりピアノを始める。強烈な自己表現能力に優れたオンド・マルトノとの出会いを期に、慶應義塾大学経済学部を卒業後渡仏、パリ国立高等音楽院(コンセルヴァトワール)オンド・マルトノ科を首席で卒業、オンド・マルトノを独奏楽器として扱う世界でも数少ないソリストとしての演奏活動を開始した。ピアノを遠山慶子、オンド・マルトノをジャンヌ・ロリオ女史に師事。作曲家としても、オーケストラ作品から独奏曲、また数々の映画やアニメに至るまで幅広い分野でその才能を披露している。出光音楽賞、横浜文化奨励賞、ミュージック・ペンクラブ賞など受賞も多数。また、20世紀を代表するフランスの作曲家オリヴィエ・メシアン作曲「トゥーランガリラ交響曲」は、オンド・マルトノが主役として活躍する楽曲であり、日本国内はもちろん、ソリストとしてカーネギーホール、ベルリンフィルハーモニーホール、シャンゼリゼ劇場、パリ・オペラ座、ミラノ・スカラ座といった主要な劇場における世界最高峰のオーケストラとの共演は20ヶ国350回を超える。

◆Instagram @takashiharadaondesmartenot



おじり まさひろ

尾尻 雅弘 ギター

バークリー音楽大学にてジャズ・ギターを学び、その後マンハッタン音楽学校にてクラシック・ギターをマヌエル・バルエコ氏に学ぶ。在学中、第5回GFA国際ギターコンクール、第29回パリ国際ギターコンクールにて共に第3位受賞。マンハッタン音楽学校卒業時にアンドレス・セゴビア賞を受賞。1992年、日本フィルハーモニー交響楽団との『アランフェス協奏曲』で日本デビュー。2004年、2012年にはメキシコで行われたギター・フェスティヴァルに招待され演奏会、講習会、コンクール審査を行う。自身のソロアルバムはボニー・キャニオン、オクタヴィア・レコードなどから多数リリース。近年、フルティスト・榎本吉雄氏との3枚のアルバムや軽井沢アマデウス・バンドのメンバーとして2枚のアルバムをリリースする。ギターと共に長野県軽井沢町に移住し25年を超え、音楽の視野を広げつつ地道に活動中。

◆公式サイト <http://www.ojiri.com/index.html>

伊都文化会館

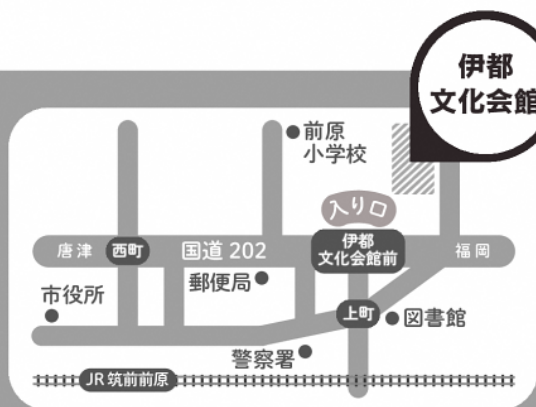
指定管理者(株)福岡市民ホールサービス

〒819-1119 福岡県糸島市前原東2-2-7

☎ 050-3533-3168

<https://www.ito-bunka.jp/>

月曜休館(月曜が祝日の場合は翌日休館)



駐車場には限りがございます。
できるだけ公共交通機関を利用ください。